

会議録（要点筆記）

会議名	令和4年度 第1回米原市環境審議会
開催日時	令和4年10月13日（木） 午後6時30分から午後8時
開催場所	米原市役所本庁舎 3階 会議室3B、3C
出席者および 欠席者	出席者：井手慎司（会長）、須藤明子（副会長）、松下京平、内藤幹滋、秋野忍、伊夫 伎博夫、大久保博則、久保田貢、澤田隆文、藤田知丈、津田千恵子、嶋野美 知子、富岡尚子、井上智子（敬称略）  欠席者： 事務局：平尾市長、市民部：西村部長、自治環境課：瀧上課長、田中課長補佐、鎌田 傍聴人：0人
議題	議事 米原市環境審議会 会長および副会長の選出 協議事項 (1)米原市気候非常事態宣言(案)について (2)第2次環境基本計画(中間見直し)について
結論	議事 米原市環境審議会 会長および副会長の選出 <u>会長 井手慎司委員</u> <u>副会長 須藤明子委員</u> 協議事項 ・今年度中を目標に、米原市気候非常事態宣言の取りまとめ、地方公共団体実行計画 （区域施策編）の策定ならびに第2次環境基本計画の中間見直しを行う方針が確 認された。 ・区域施策編は第2次環境基本計画に内包して取りまとめるが、バランスを考え、 本編に組み込むのではなく、別冊で取りまとめる構成を検討する。 ・基本計画の中間見直しに先立ち実施する意識調査は、市民意見の収集に加え、市民 意識の醸成への活用を念頭に実施する。 ・意識調査は、中高生の意見収集や環境意識の醸成を目的に、対象年齢の引き下げを 検討する。 ・市民意識の把握については、継続的な調査の実施を検討する。
自治環境課長  市長   事務局	1. 開会（開会あいさつ）  2. 市長あいさつ  3. 委員委嘱状交付  4. 自己紹介  5. 環境審議会について（米原市付属機関設置条例および米原市環境審議会規則の説明）

	6. 米原市環境審議会 会長および副会長の選出
委員	事務局案はないか。
事務局	事務局案としては、第 2 次環境基本計画策定時からご助言を頂いている、滋賀県立大学の井手委員を会長に、市の環境政策を熟知されている須藤委員を副会長にお願いしたいが、いかがか。
一同	異議なし
自治環境課長	異議なしとのことなので、会長を井手委員、副会長を須藤委員に選任する。では、会長、副会長から挨拶をお願いします。
会長	(あいさつ)
副会長	(あいさつ)
	7. 諮問（第 2 次環境基本計画（中間見直し）） （市長より環境審議会長へ第 2 次環境基本計画中間見直しについて諮問）
自治環境課長	それでは、会長が議長になっていただき進行をお願いします。
会長	議長として進行させていただく。まずは議事について事務局より説明をお願いします。
事務局	※米原市気候非常事態宣言（案）について説明（資料 3, 4） ※第 2 次環境基本計画（中間見直し）について説明（資料 5, 6, 7）
会長	今年度に気候非常事態宣言の取りまとめと環境基本計画の中間見直しを行う。また、環境基本計画見直しに先立ってアンケート調査を行う予定との事である。 環境基本計画の見直しを行い、地方公共団体実行計画事務事業編および区域施策編を内包した計画とするとのことだが、温暖化が関係する分野 4 に計画を組み込むと全体的なバランスが悪くなると思われる。取りまとめについて事務局の考えを聞きたい。
事務局	計画の構成は検討中だが、本編に組み込むのではなく、別冊として取りまとめることを考えている。
会長	その方が、バランスが良いと思う。

委員	<p>脱炭素の取り組みを全市民で進めていくには、市民意識の醸成を進めていく必要がある。このため、アンケート冒頭に ECO VILLAGE 構想や気候非常事態宣言についてわかりやすい説明を加えるなど、アンケートも情報共有や意識醸成の機会として活用することを検討して頂きたいと考える。</p>
委員	<p>アンケート調査は11月に1回行うということだが、継続的な市民意識調査を行う考えはあるか。また、調査結果をどの様に評価するか考えを聞きたい。</p>
事務局	<p>継続的な調査の予定はないが、隔年で実施されている米原市市民意識調査で継続的な把握を行うことができると考えられる。調査結果の評価は、国の世論調査と対比して評価を行うことを考えている。また、施策を展開するに当たり、どの程度の方が「脱炭素社会」についてご存知かといった基礎情報も重要だと考えている。</p>
会長	<p>継続的に意識調査が出来れば事業効果を計ることができる。また、環境基本計画の指標にもできると考えられるので、継続的な調査実施について検討願いたい。</p>
委員	<p>脱炭素の取り組みを進めるには専門的な知識も必要であり、地域のリーダー人材の育成が必要になると思う。</p> <p>脱炭素については懐疑的な人も多いため、アンケートでは、「脱炭素に取り組む必要はない」と考えている人がどの程度いるかを把握することも重要と考える。</p> <p>また、アンケート案では温暖化対策に取り組む企業の製品・サービスの購入についての質問が抜けているように思う。国の世論調査では「今後、取り組みたい」という意見が最も多い項目であるため、質問に追加することを検討願いたい。</p>
委員	<p>アンケートは米原市民を対象にしているが、市外に在住する企業従業員の意見も重要だと思われるので、検討願いたい。</p>
委員	<p>アンケートに中山間地域の地域性を踏まえた質問を入れてはどうかと思う。</p> <p>また、炭を土壌に戻すことや生ごみの堆肥化も脱炭素の取り組みになるので、こうした活動を取り上げることで、農家にも興味を持って貰えるようになると思う。</p>
会長	<p>農家の営農活動を事業者の取り組みと考えるか、日常的な取り組みと考えるか、いくつか考え方があがるが、何らかの形で農家の意見が聞き取れるよう工夫して下さい。</p>
委員	<p>市に何を期待するかだけでなく、自分事としてどう捉えていただくかが大切だと思う。</p>
委員	<p>今回のアンケートは18歳以上が対象となっているが、子供達の意識を高めるため、中学生や高校生も調査対象にして頂ければと考える。また、こうしたアンケートは学校でも取り組んで頂ければと考える。</p>

会長	本調査は統計的な意味よりも、啓発や意見集約が主目的と考えれば、同じ対象者数でも対象年齢をもう少し下げることができないか、検討をお願いします。
委員	アンケートについては、「脱炭素」という言葉を加えて調査の主旨説明を行うなど、わかりやすいように工夫した方がよいと思う。
委員	ECO VILLAGE 構想は、現在は地域が限定されているが、将来的には市民全体のムーブメントに繋げていくという事であれば、学校教育との連携等もできれば良いと考える。
会長	時間が限られるので、その他の意見については、事務所へメールにて提出してもらいたい。事務局、意見提出の期限を教えてください。
事務局	アンケートに関する意見は 10/25、計画に関する意見は 11/30 までを期限としたい。
副会長	温暖化対策のムーブメントは重要ですが、生物多様性保全などとのバランスが重要なので、そうした点に注意をお願いします。
	以上